



むさしむらやま

こども版 **6**
4・5ページ

編集・発行／武蔵村山市教育委員会 〒208-8501 武蔵村山市本町1-1-1 TEL 042-565-1111 ◆問合せ先◆教育総務課 市役所内線424



あなたの「当たり前」は、みんなの「当たり前」ですか？

～武蔵村山市立第七小学校～

6月19日（木）、東京2025デフリンピックの陸上競技日本代表内定選手（7月11日代表決定）の「岡田海緒」さんを講師としてお招きし、4年生を対象としたスポーツ体験授業が行われました。

岡田さんが話されたことの中で最も印象的だったことは、「生まれ変わっても、また、耳が聞こえないままがいい」という言葉です。音が聞こえること、景色が見えることが「当たり前」という感覚は、あくまでも自分にとっての「当たり前」で誰にでも当てはまることではないと痛感した瞬間でした。

東京2025デフリンピックを目前に控える中、岡田さんをお招きできたことは、児童が自分とは違った「当たり前」を自然に受け入れる貴重な場となりました。そして、聴覚障がいに対する理解を深めるだけでなく、多様性や共生について感じ、考えるきっかけとなる非常に有意義な時間となりました。

デフリンピックって なんだろう？

デフ+オリンピックのこと。
デフ（Deaf）とは、英語で「耳がきこえない」という意味です。デフリンピックは国際的な「きこえない・きこえにくい人」のためのオリンピックということになります。

開催日程 11/15～26

開催場所 主に東京都内のほか、福島県・静岡県

『自尊感情を育む、まちづくり学習』
今、顕在化しているいじめや不登校などの様々な教育問題の根底には、自尊感情の乏しさや自己肯定感の低さがあるのではないだろうか。
「自分にはいいところがない」、「自分は人に誇れるものなど何もない」、「自分はダメな人間である」、「自分に自信がない」。
そして子供は、「失敗しちゃいけない、間違っちゃいけない」と心身を固くし、ビクビクしながら息をつめて生きているのではないかと考えるようになってきました。
しかも、ある調査によると、こうした傾向は年齢が上がるにつれ、また10年前の子供より今の子供の方が顕著だということも分かってきました。
自尊感情とは、「自分は人間としてまんざらでもない存在だ」、「自分は価値ある人間だ」、「自分が信じられる、自分のことが信頼できる」といった肯定的な感情のことで、それは「生きる力」の源となる極めて重要な感情と言えます。
自尊感情が豊かな人は、些細なことでキレたりすることなく、困難にあっても自分を信じて辛抱強く努力することができると。
また、失敗や挫折にもくさらない、「こんなことで終わってしまえるか」と再び立ち上がることもできます。
今、学校、家庭、地域社会が連携し、最も力を入れて取り組むべき教育課題は子供の自尊感情や自己肯定感を高める教育であり、まちづくり学習はその中核を担う学習になると考えています。
まちづくり学習は、誰もが活躍できる学習であり、子供たちの頑張りを認め、励ます学習になります。そのため、子供たちは自信をもてるようになる強く思っています。

武蔵村山市教育長 池谷 光二

令和7年度実施 令和6年度教育委員会 事務事業点検・評価報告書

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、本市教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表いたしました。

今年度は武蔵村山市第三次教育振興基本計画に定める具体的施策(50施策)全てを対象として一次評価を行い、同計画に定める基本施策(16施策)のうち5つの基本施策について包括的に有識者による二次評価を行うことにより点検・評価することとしました。

二次評価項目

- (1) 学力向上策の推進
- (2) 「学校2020レガシー」の構築に向けた取組の推進
- (3) 学校・家庭・地域の協働体制の構築
- (4) 教職員の質の向上と教員の「働き方改革」の推進
- (5) スポーツ・レクリエーション活動の推進

有識者の評価のまとめ(抜粋)

武蔵村山市第三次教育振興基本

計画に基づき、教育委員会の事務局が中心となって着実に取り組まれていることがわかった。未来の武蔵村山市をつくる、児童・生徒からは、「武蔵村山市に住んでいてよかった」、「武蔵村山市にはこんな学びができる」という声が、教員からは、「武蔵村山市ですつと働きたい」という声があがるようになってほしい。

有識者からの質問を受けて、会議における質疑応答の中で、改めて「不足があった」と認識することがあると思うが、その不足を認識できたことは有識者会議の意義があったと感じられる。

学習環境の変化が著しい昨今で、PDCAでは対応が追いついていないのが現状ではないかと思う。色々な変化を汲み取りながら迅速に対応できるよう、現場の声をどんどん取り入れられる体制が必要なのだと思う。

今後は、評価結果を踏まえ、課題の改善や教育施策の推進に役立ててまいります。

※ 報告書は、市政情報コーナー、教育総務課窓口のほか、ホームページ(ホームページ番号…1000826)からも閲覧できます。

夏季教職員研修(「初任者研修」「教育課題夏季研修」等)を実施しました

夏季休業中の教員は、学校での三者面談や二学期に向けた授業等の準備、部活動の指導などを行うとともに、指導力向上のための研修に励んでいます。

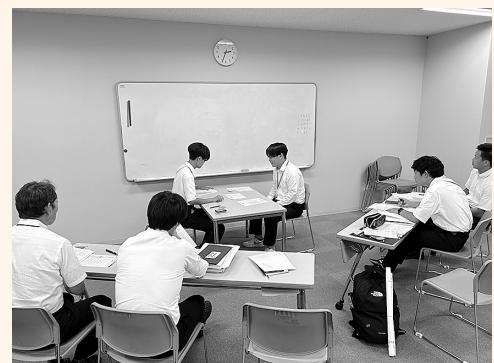
今年度の初任者研修では、二学期に行う予定の授業を模擬実施し、互いに改善点を模索する取組を通して、今後に向けた指導力向上に努めました。

また、例年実施している「武蔵村山市教育課題夏季研修」では、本市の教育施策に位置付けられている「まちづくり学習の推進」、近年の重要課題である「不登校児童・生徒への支援」、さらには「デジタルを活用した学び」について、ワークシヨップを踏まえた講義を受けました。あわせて、児童・生徒指導に効果的な教員の振る舞い方について、外部の専門家からの指導を受けながら、習得を目指しました。

研修は、初任者研修が丸一日、教育課題夏季研修が2時間の講義を4回に分けて実施し、中には他市から参加する教員もあり、多様な学びが生まれていました。こうした学びを、今後の授業や学校経営の改善に生かしていきます。



日常の教育活動で課題となる場面を設定し、適切な振る舞い方をグループで協議しました。【教育課題夏季研修より】



授業における児童・生徒への指導場面を模擬実施し、改善点を初任者同士で共有しました。【初任者研修より】

五十周年記念式典に向けて 〜第三中学校〜

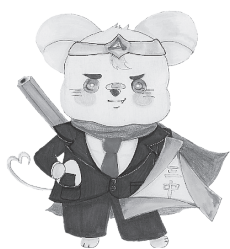
本校は創立五十周年の節目の年になっています。11月6日(木)に行われる創立五十周年記念式典へ向け、着々と準備を行っています。

5月14日(水)にドローンによる航空写真の撮影を行いました。全校生徒が学年ごとに決められたカラーエプロンを着用し、三中の校章をかたどり、撮影を行いました。



歴代の航空写真パネルは本校の職員室前に掲示してあります。本校にお越しの際はぜひご覧ください。

また、五十周年記念キャラクターも本校生徒がデザインし投票により左記のように決定しました。五十周年記念式典は二部構成で、第二部は生徒会が企画立案して行います。



ランキョウ
キョウラン
チュウさん

創立五十周年記念運動会開催

5月31日(土)に予定していましたが、創立五十周年記念運動会ですが、雨天により6月6日(金)に延期して実施しました。

本年度のスローガンは「全速力(フルスピード)」で走るのが我らの青春だ」でした。

生徒たちが中心となった各学年種目では練習の成果が表れた素晴らしいものでした。そして、学年関係なく応援し、熱戦



中でも互いを認め合う温かな雰囲気、印象的でした。当日はPTA役員の方の協力の下、ご来校いただいた来賓、保護者、地域の皆様、温かな応援ありがとうございました。

海洋教育パイオニアスクール

本校では、今年度よりゼロカーボン学習をさらに深化させることを狙いとして、海と人との共生を題材に海洋教育パイオニアスクールとして海を用いた学びの可能性を広げる活動を行っています。

グリーンサポーターの活動 〜第三小学校〜

本校では、学校運営協議会委員をはじめとした、地域の方々にご協力をいただき、グリーンサポーター(校庭芝生化推進協議会)の活動を行っています。

毎月一回程度、学校の休業日に校庭の芝刈りや草取りなどの作業を行っています。呼びかけに応じて、児童や保護者、地域の方や校庭を利用する野球チームの方々にも芝刈りに参加していただいております。今年度から児童向けのスタンプカードを導入したことにより、児童の参加がとて多くなりました。6月には、芝生の生えていない場所に芝を植え付けるための「ポット苗づくり」を専門家の指導のもと、行いました。そして、7月には、育てた芝生の苗を校庭に植える活動を行いました。



芝生の苗(ポット苗)の植え方について専門家から指導を受ける参加者

また、芝生作業の後に、イベントも年に数回実施しています。6月には、地域の音楽演奏グループやプロのアーティストを招いて、リコーダーやピアノ、そして、オーストラリアの民族楽器「ディジュリドウ」の演奏会を行いました。



音楽の調べ(6月音楽演奏会)

7月には、ポット苗の植え付けの後、水ヨーヨー体験会を実施しました。暑い中のイベントでしたが、80名近い参加者がありました。

今後は、10月に校庭で映画を鑑賞する「丘の上上映会」、11月に「焼き芋体験」などのイベントを計画しています。

活動に必要な経費は、東京都の「校庭芝生化地域連携事業」の補助金を活用しています。学校を拠点とした地域コミュニティの活性化をめざして、今後も活動を推進していきます。

かくえきしゅうへん しょうらい
※各駅周辺の将来イメージ図

あか
おせっかいがつなぐ灯るいまち
けんこう こうりゅう
(健康と交流のまち)

むさしむらやま
“あの”武蔵村山へようこそ!
おおくのひとをよびこむまち
(多くの人を呼び込むまち)

瑞穂町
みずほまち

東大和市
ひがしやまとし

かえ 帰ってきたいと思える緑のまち
おも 子どもの
みどり
(子どもが伸び伸び育つまち)

ひろ
ここから広がるクロスポイント
(まんなかとなるまち)

さくら ま いこ
桜 舞う憩いのまち
ゆた しぜん なか いこ
(豊かな自然の中でゆったり憩うまち)

きょうい く 教育むさしむらやま 6 ばん こども版



モノレールができた
ら、どんなまちに
なってほしいかな？

みんなでかんが
えて
みよう！



ぜんかい しちょう こ きしゃ ようす とど
前回は、市長と子ども記者のインタビューの様子をお届けしました。
今回は、将来やってくる“多摩都市モノレール”について特集します。
いっしょに、むさしむらやま市のまちづくりをかんが
えていきましょう。

「たまとし 多摩都市モノレール」

Q & A

Q いま はし
今、どこを走っているの？

A た ま し た ま えき ひがしやまとし かみきただいえき
多摩市にある多摩センター駅から、東大和市にある上北台駅ま
で、合計約16kmを走っています。

Q つく
だれが作るの？

A とうきょうと た ま と し かぶしきかいしゃ つく
東京都と多摩都市モノレール株式会社が作ります。

Q し とお えき
むさしむらやま市のどこを通るの？駅はいくつできる？

A ひがしやまとし かみきただいえき しんおうめかいどう ま なか とお
東大和市にある上北台駅から新青梅街道の真ん中を通して、
瑞穂町の箱根ヶ崎まで通ります。
むさしむらやま市には5つの駅ができます。

Q ごろ
いつ頃やってくるの？

A ねんだいなか かいぎょう め ざ
2030年代半ばの開業を目指しています。



みんなの
こえき
かせてね



こども版アンケートはこちら

クイズ

た ま と し
多摩都市モノレールとマラソンの
せかいきろく ほう はや
世界記録はどちらの方が速いかな？

五中フェスティバル



7月5日(土)に五中の伝統行事である「五中フェスティバル」を開催しました。「五中フェスティバル」は、地域の方々をゲストティーチャーとしてお招きしお仕事や特技、趣味などについて講座を開いていただく長い歴史がある行事です。

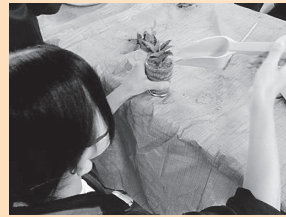
当日は13講座・全18グループに分かれて2、3年生を対象に体験を行いました。体を動かすもの、ものづくりをするものをはじめ、多彩な講座を開くことができました。地域の文化に触れ、地域を学び、地域の方々と交流を深めることもできました。生徒たちは日頃できない経験をすることができ、笑顔あふれる充実した一日となりました。



ダブルダッチ



シルバーアクセサリー



ハイドロカルチャー



防災訓練活動



韓国語



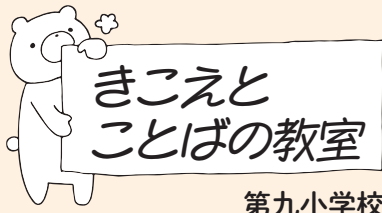
村山うどん

○防災訓練
○紙飛行機
○韓国語
○写真
○木工体験
○村山うどん
○ダブルダッチ

○プラバンクラフト
○ヒップホップダンス
○シルバーアクセサリー
○ボイトレ・コーラス
○アクリルボックス制作
○ハイドロカルチャー

〈今年度の開設講座一覧〉

講師を快く引き受けてくださった地域の皆様、お手伝いいただいた学校運営協議会の皆様、PTA役員及び委員の皆様、誠にありがとうございました。引き続き、ご支援・ご協力をお願いいたします。



第九小学校

教室紹介

普段は在籍の学校で学習を行い、きこえやことばの指導を受けるために、週に1～2回、45分～60分程度九小に通ってきます。基本は、個別指導でことばの力を伸ばします。教室で学習している時間帯は、在籍の学校では出席扱いとなります。

子どもたちの「学びたい!」を応援します

ことばは、学習だけでなく、他者とのやりとりや毎日の生活を支える大切な力です。教室では、一人一人に合った学び方を一緒に考え、「できた」「分かった」「伝わった」と感じられる経験を積み重ね、学ぶ楽しさや自信を育てていきます。そして、どのお子さんも安心して、自分らしく過ごせることを大切にしています。

「きこえとことばの教室」(以後、「教室」)は、聞いたり話したりすることに心配な点があるお子さんに寄り添い、支援の手だてを考える通級指導学級です。市内では九小のみに設置されており、現在53名のお子さんが通っています。



対象となる主な困り感

- 聞こえにくさがある。
- 発音がはっきりしない。
- 吃音がある。
- 読み書きが苦手。
- 言葉の数が少ない。
- 言いたいことを言葉で表すことが苦手。
- 小さい「つ」「や・ゆ・よ」が苦手。

《問合せ》 きこえとことばの教室 042-563-9594 (直通)

相談は随時受け付けております。「ちょっと気になるかも、、、」そんな時は、どうぞお気軽にご相談ください。

入級の有無に関わらず、相談はいつでも受け付けています。
お子さんのことを一緒に考えていきましょう!



教室 HP



教室 X (旧 Twitter)

学校で学びを深めた 村山学園の子供たち

村山学園

1学期末の7月、村山学園では学校外で、様々な教育活動を行い、学びを深めました。6年生「日光移動教室」、7年生「川越校外学習」、8年生「職場体験」、S組「高尾校外学習」について、紹介します。

6年生 日光移動教室

6年生は、4月から日光の自然や歴史についての調べ学習を進めてきました。7月8日(火)、子供たちは、期待と少しの不安を抱き、2泊3日の宿泊学習に出発しました。

1日目は、日光東照宮と華厳の滝の見学です。日光東照宮では、調べてきた「陽明門」や「三猿」「眠り猫」などをじっくりと観察しながら見学しました。華厳の滝は、相変わらずの大迫力で、子供たちはマイナスイオンを浴びながら、落水の様子を楽しんでいました。2日目は、楽しみにしていた戦場ヶ原ハイキング。ネイチャーガイドさんとともに、日光の自然を満喫しました。ガイドさんの解説を聞きながら歩くことで、植物などについての理解を深めることができたようでした。そして、最終日の3日目。白根魚苑でニジマスを釣り、自分で釣ったニジマ

スを自分でさばく体験をしました。自分で釣り、さばいたニジマスの味はこれまでに食べたどんな魚よりも美味しかったはずですよ。



7年1・2組&7年E組 川越校外学習

7年生が、中学部になって初めての校外学習で川越に行ってきた。今回の校外学習は、玉川上水駅を出発してから玉川上水駅に戻ってくるまで、班別行動です(E組はクラス行動)。自分たちで見学場所や昼食場所を決めて、効率よく回るルートを考えて、当日を迎えました。当日は、班長をリーダーにして、電車を乗り換えたり、地図を頼りに川越市内を歩いたりしました。各チェックポイントには、担当の先生が待っています。先生の顔を見ると、班別行動で少し緊張した面持ちだった生徒にも、笑顔が戻っていました。

お客さんが多くて予想以上に昼食に時間が掛かったり、お店に持ち物を忘れたりするなどの出来事もありましたが、一人一人が自身の役割に責任をもち、楽しみながら行動でき

た一日になりました。



8年生 職場体験

職場体験は、生徒が市内の事業所や店舗で実際に働く経験を通じて、働くことの意義を主体的に考え、自身の将来に向けての意識を高めることを目的としています。

今年度は、図書館などの公共施設・機関、保育園などの教育機関、スーパーマーケットなどのお店、計19の事業所にご協力をいただき、7月9日(水)から11日(金)の3日間で実施しました。

実施前には、自己紹介文(履歴書)を書いたり、挨拶や言葉遣い、時間を守ることなどの大切さについて学習しました。また、生徒がお世話になる事業所に電話で依頼をしたり、事業所を訪問して挨拶をするなど、準備を重ねてきました。

体験初日は緊張しながら取り組みましたが、2日目・3日目は慣れてきた様子が見られ、お客さんに対して自然な笑顔が見られるようになってきました。

S組 高尾校外学習

7月4日(金)、S組の7年生から9年生が、高尾の森わくわくビレッジに校外学習へ行きました。

プロジェクトアドベンチャーという、グループで様々な活動に取り組みながら信頼関係を育み、仲間とともに達成感などを味わうことができるプログラムを体験しました。島から島へ飛び移るターザンロープ、バランス力が必要な巨大シーソー、協力が必須の綱渡りなどの活動を行いました。

ある活動の際には、なかなかうまくいかない生徒がいましたが、「いける、いける。もうちょっとこっちにおいで。」など、仲間を励ます姿がありました。挑戦する勇気や支え合うことの大切さを実感できた貴重な一日になりました。



村山学園の子供たちが、学校外の学習で得た学びを生かして、今後も様々な活動に精一杯取り組んでいくよう、保護

者・地域の方々と連携して指導・支援していきます。

十小夏まつり

第十小学校

6月28日(土)に、「十小夏まつり」を行いました。昨年度まで実施していた高学年の販売は別の機会にスピンオフし、今年度は、クラスごとのお店の企画・運営に注力しました。保護者の参加もあり、どのクラスも想定以上の集客に大忙し。お店回りも大いに楽しみました。

青少対にも出店頂き、子供も大人も笑顔一杯のまつりとなりました。



市内中学校職場体験

参加した生徒の声

今年も市内中学校の職場体験を、数多くの事業所の皆様のご協力により実施できております。

ご協力いただいている事業所の皆様に深く感謝申し上げますとともに、今後も生徒の勤労観・職業観の育成や学習意欲の向上のため、ご理解・

ご協力を賜りますようお願いいたします。

一部ですが、参加した生徒の声を紹介します。

体験先：武蔵村山病院

【考えたこと、学んだことは？】

「医者や看護師以外にも病院に関わっている職種はいっぱいあるということ。」

体験先：オリオン書房

イオンモールむさし村山店

【印象に残っている体験は？】

「本の場所を聞かれたとき、すぐにNOCOS7(書店のシステム)で調べて場所を教えることができた。」

体験先：トヨタモビリティ

東京東大和店

【うれしかったことは？】

「お客さんから感謝の言葉をもらったとき。たのまれていた仕事を終えて、感謝をされたとき。」



第19回栄村駅伝大会

開催結果

令和7年7月6日(日)に姉妹都市長野県栄村で第19回栄村駅伝大会が開催されました。

武蔵村山市からは「でえだら」、「えのき」、「かたくり」の3チームを派遣し、栄村の皆さんと交流を深めました。

なお、大会には全20チームが出場しました。武蔵村山市から出場した3チームは全て入賞し、2区と5区では区間賞を獲得しました。タイムと順位は表のとおりです。



おめでとうございます！！

チーム名	タイム	順位
でえだら	22分40秒	4位
かたくり	23分22秒	5位
えのき	25分11秒	6位



第49回市立中学校

総合体育大会 開催結果

市立中学校総合体育大会の熱戦が7月から9月にかけて6種目の競技で繰り広げられました。試合結果(優勝校)は次のとおりです。

▼ソフトテニス(ダブルス)

男子…五中
女子…五中

▼バスケットボール

男子…一中
女子…三中

▼サッカー

3年…実施無し
2年…三中・大南学園(合同)

▼野球

村山学園・大南学園(合同)
バドミントン(ダブルス)

男子…三中
女子…大南学園

バドミントン(シングルス)

男子…三中
女子…三中

▼卓球(団体)

男子…大南学園A
女子…大南学園A

▼卓球(個人)

2・3年生男子の部…大南学園
2・3年生女子の部…大南学園
1年生の部…大南学園





文化振興課からのお知らせ

開催日	11月2日(日)
時間	午前10時～午後3時
場所	市民会館展示室、小ホール及び市役所駐車場
内容	体験コーナー、舞台公演、飲食販売



《問合せ》

文化振興課生涯学習係 市役所内線652
市 HP 番号1017271

市内には、いろいろな物作りを楽しみ、学んでいる方々がたくさんいます。そんな方々のご指導のもと、物作りや体験学習をしてみませんか？
楽しいイベントや、おいしい食べ物をご用意して、皆様のご来場をお待ちしております。
今年度は下記のとおり市民文化祭と合同で開催いたしますので、例年にも増して賑やかなお祭りには是非ご来場ください。



第28回

生涯学習フェスティバル開催！

主催 生涯学習フェスティバル実行委員会
共催 武蔵村山市教育委員会、武蔵村山市民会館

ステージ部門

団体名	日程(10月)
吟 剣 詩 舞	26日(日)
団体名	日程(11月)
ウインドアンサンブル むさむらギターサークル サーフベンチャーズ	1日(土)
日 本 舞 踊	2日(日)
ミュージックフェスティバル 混声さくら&おやじバンド	3日(月・祝)
民 謡	8日(土)
演 劇	8日(土)～ 9日(日)
フ ラ ダ ン ス	9日(日)
ハ ワ イ ア ン OTSUNA + さくらポップ	15日(土)
和 太 鼓 COG(ビッグバンドJAZZ)	16日(日)

催事部門

団体名	日程(11月)
武者&お姫様体験 市民囲碁大会	2日(日)
茶 道	16日(日)

《問合せ》

文化振興課生涯学習係 市役所内線658
市 HP 番号1007926

市内で文化活動を行っている団体やサークル等が日ごろの活動の成果を発表する場として、さくらホール(市民会館)にて市民文化祭を開催します。
大・小ホールを使つてのステージ部門と、展示室や会議室等を使った展示部門及び催事部門があります。詳細は、市ホームページ等をご確認ください。
文化の秋、是非とも市民文化祭に足をお運びください。

展示部門

団体名	日程(11月)
俳句 短歌 絵 展 短切 展	1日(土)～ 2日(日)
美写 い 術 真 展 け 花	15日(土)～ 16日(日)

第56回 市民文化祭

主催 武蔵村山市民文化協会(武蔵村山市民文化祭実行委員会)
共催 武蔵村山市教育委員会



ALT Column

In July, a couple of Musashimurayama ALTs let our creativity flow with a painting class at an art studio run by a small group of passionate artists. The environment was relaxed and low-pressure, and the instructor even taught us in both Japanese and English. They went the extra mile to create a welcoming atmosphere and ensure we not only understood what to do but also felt included among Japanese people.

First, we were given a round canvas and selected a color palette for the background. The walls were covered in sample paintings for reference, inspired not only by Japanese artists but also Van Gogh and Monet. Afterwards, we used ink pens to draw motifs like flowers or spirals. Despite our limited artistic experience, events like this use painting as a tool to bring us together and connect with people in Japan.

Afterwards, we talked with the instructor regarding his motivation for painting. He spoke about various communities in Japan and how he paints to help raise funds for activism groups. As foreigners, we recognize these communities in our home countries too, so it's gratifying to see shared causes and realize how global these connections can be. We had an amazing time!

7月、武蔵村山のALTである私たち二人は自身の創造力を伸ばすために、熱心に活動しているアーティスト仲間が運営するスタジオで絵画教室に参加しました。リラックスした雰囲気の中、プレッシャーもなく、インストラクターは私たちに英語と日本語で教えてくれました。私たちが内容を理解するだけでなく、日本の人々の中にも安心して溶け込めるように配慮してくださいました。

まず、丸いキャンバスを渡され背景に使う色調を選びました。壁には参考になるよう、日本のアーティストだけでなく、ゴッホやモネといった画家から影響を受けた作品が飾られてありました。その後、インクペンで花や渦巻といったモチーフを描きました。絵画の経験が少なくてもこういったイベントに参加することで絵画を通して人と出会い、つながりを持つことができます。

最後にインストラクターの方と絵を描くことの動機について話す時間がもてました。彼は日本の様々なコミュニティについて語り、その活動団体の資金を集めるために絵を描いていると教えてくれました。私たち外国人にとっても、自分の国に同じようなコミュニティがあり、共通の目的をもった世界中の人々とつながれることが実感でき、うれしく思いました。とても楽しい時間を過ごしました。



教育長・教育委員の動き（7月～9月）

- 7月 1日（火） 東京都市町村教育委員会連合会
第2回研修推進委員会
- 7月 6日（日） 姉妹都市交流事業第19回栄村駅伝大会
- 7月22日（火） 東京都市教育長会
- 7月25日（金） 第7回教育委員会定例会
- 7月31日（木） 東京都市教育長会研修会
- 8月 1日（金） 東京都市町村教育委員会連合会
第3回研修推進委員会
- 8月20日（水） 東京都市教育長会
- 8月22日（金） 第8回教育委員会定例会
東京都市町村教育委員会連合会 第2回常任理事会・第2回理事会及び第1回理事研修会

- 9月 7日（日） 令和7年度武蔵村山市少年・古希軟式野球チーム
親善試合 開会式・始球式
- 9月18日（木） 第9回教育委員会定例会

教育委員会提出議案（6月～8月）

提出議案9件（うち可決された議案9件）

主な可決議案

- ・武蔵村山市立小学校特別支援学級令和8年度使用教科用図書の採択について
- ・令和7年度教育予算の補正（第4号）の申出について

詳しくは、市ホームページ **HP 1020804** をご覧ください。

令和7年10月～12月 主な教育委員会関係事業予定

事業名	開催日	場所	対象者等	問合せ先
スポーツ都市宣言記念事業	10/5（日）	総合体育館第一体育室	市民	スポーツ振興課
第56回市民文化祭	10/26（日）～ 11/16（日）の土日祝	市民会館	市民	文化振興課
第28回生涯学習フェスティバル	11/2（日）	市民会館展示室、 小ホール及び 市役所駐車場	市民	文化振興課
第42回少年少女サッカー大会	11/15（土）	総合運動公園 第1・第2運動場	小学4・5・6年生	スポーツ振興課
第52回市民駅伝競走大会	12/14（日）	総合体育館 スタート・ゴール	市内在住・在勤・在学者 （小学4年生以上）	スポーツ振興課

教育委員会X（旧：Twitter）



「教育むさしむらやま」へのご意見・ご感想をお寄せください。

